

続・学びの実感

面積の求め方を考えよう

◇同一單元による研究授業です。チャイムの後、ゆったりとスタートした授業でした。子供たちはそれぞれのレベルで思考を楽しんでいました。

また、子供たちの様々なアピールも上手に対応し、授業を進めていた裕介先生です。

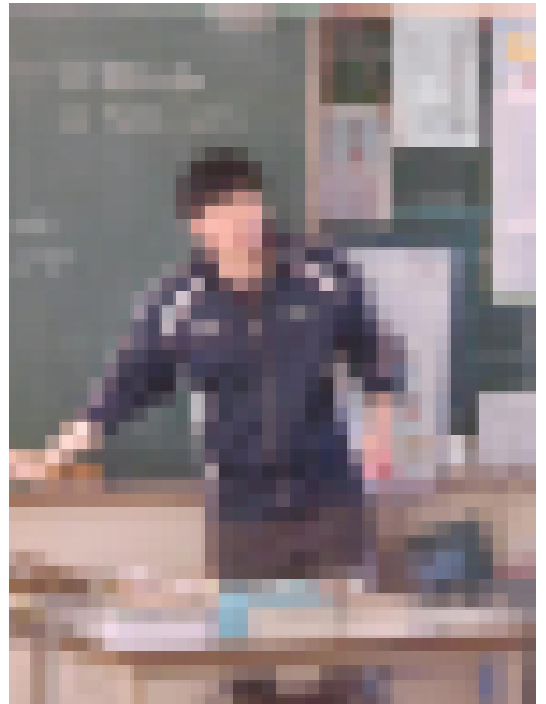
◆事前検討会から…

◇一回目…

※今までの面積の学習では「解き方を考える」で1時間。その後「公式につなげて習熟する」で1時間です。しかし、今回のひし形は、一単位時間の中で、考え方から公式までを学習する場面です。授業の流れに悩んだそうです。

※①自分の考えを持つ→②トリオ学習をして、互いの考え方を確認し、絞る。→③全体で発表する。という流れで行きたい。

※授業中の「うるさい」は子供たちの発言の内容次第。要はその発言の質の問題である。ただ「うるさい」だけのくくりは避けるべきであろう。子供たちの発言を大切にしていっらどうですか。



◆事後検討会から…

《自評》

◎三浦先生…

- 公式の近いところまで行ければと思っていたのですが…公式まで行きませんでした。
- 時間短縮のために黒板に子供たちの考えを書かせないなどの方法も考えたが、グループごとで話し合いをして「は・か・せ」の考えを出させようと思っていました。
- 自分たちの考えを発表し合って終わってしまった。その話し合いの中から、共通点を見つけられれば公式までつながったかもしれません。
- 子供たちの考えをもっと上手に取り上げられれば良かった。



• 子供たちが自分の考えを文字や記号を使って上手に説明できなかった。もう工夫必要だった。

◎伊勢先生…

- 1組と2組では学習の理解度に差があります。
- 今日は9時間目の授業だったので、算数が苦手な子供たちも、既習事項の図形に変形できれば良いと気が付いているようで、意欲的に学習できた。
- ひし形を三角形に考えて計算する子供たちは少なかった。
- 等積変形、陪席変形は出ていたが、分解は出にくかったように思う。

- 公式は出なかったが、やはりどこかで強制的にでも活動を止めて、まとめに入るべきだったかも…。
- 対角線に注目させると思考の助けになったかも…。



《参観者から》

- 質問：トリプル学習は子供たちの考えを一つにまとめさせるためですか？
 答え：一つにまとめられるといいなと思いました。
- 子供たちの中に「自分のやり方」なのか「自分たち（グループ）のやり方」を考えるのかがはっきりしなかった。
- 自力解決の時間が長かった。活動時間のバランス配分を考えましょう。みんなが出来ていたので、グループで相談はいらなかったかも。
- 「たて×よこ」と「対角線×対角線」のつながりを意識させると子供たちの中に落ちたかも。
- 子供たちの声を上手にアナウンスすることはやはり大切ですね。
- パワーポイント等を使ってしくに訴えるものを用意すると子供たちの中に落ちたかも。
- マスの敷き詰めは、四角形（長方形）が基本です。面積から体積につながっていきます。四角形（長方形）にすれば面積が求められると公式がなくても解けるようになります。自分が学習した方法の中から解き方を子供たちになりに考えられるといいですね。
- 補助線を引くこと、引けることが大切だと思います。
- 図形の中になる必要な情報を見つけ出すのが苦手である。情報の選択能力を高めることが大切ですね。



- 図形の特徴を言葉で説明できるようにすることが大切である。身に付けさせなければならない力である。
- ペア学習を無理矢理取り入れることは無いと思います。単元の中で必要に応じて組み立ててみては。
- 算数では思考広がりや気づきが大切になると思います。
- 授業は生徒指導です。みんなが活躍できるように進められるといいですね。
- 学習グループはそれなりに工夫（話し合いしやすいように）すべきだが、テーブルの並べ方はきちんとすべきだったのではないか。

◆課題のリレー

（有効…○ 課題…●）

○見通しをもたせる導入のあり方

※子供たちが考えや答えのイメージを持ちやすくするため

●教師自身が話し合いの視点（ねらい）を明確に持ち、子供たちに示す

次回の研究授業は…

1月16日（金）6年2組 「きまりを見つけよう」 土生学級

出来るだけ話し合いや授業を参観しましょう。